

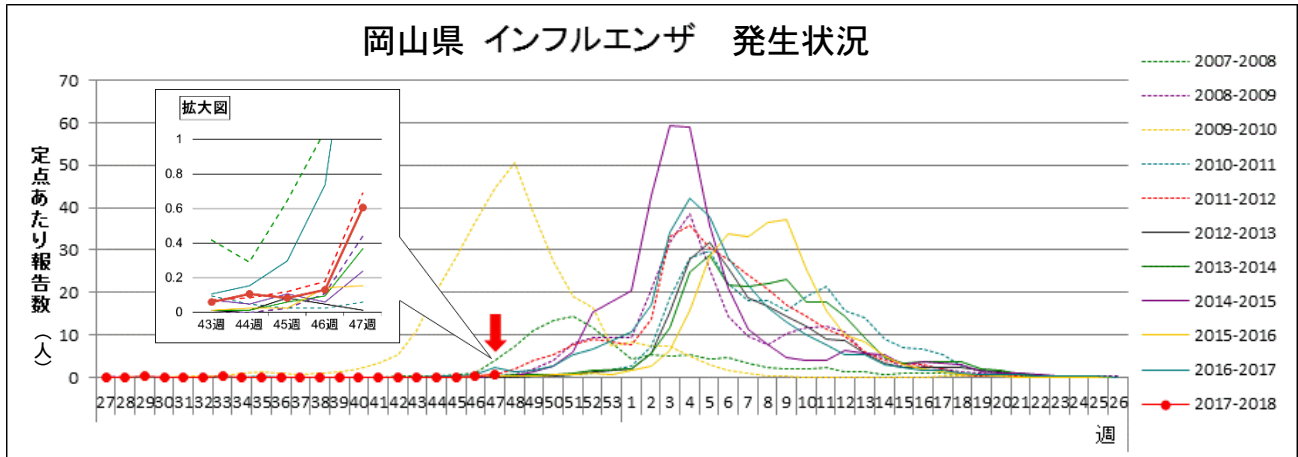
インフルエンザ週報 2017年 第47週 (11月20日～11月26日)

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で51名(定点あたり0.61人)の報告がありました。(84 定点医療機関報告)
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

【第48週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が7施設でありました。(11月27日～30日)



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で51名(定点あたり0.13 → 0.61人)の報告があり、前週より大きく増加しました。地域別では、岡山市(1.23人)、美作地域(1.10人)、倉敷市(0.63人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、岡山市と美作地域では、インフルエンザの流行開始の目安となる「定点あたり1.0人」を上まわりました。備北地域と真庭地域を除く全ての地域で患者の発生がありますが、特に岡山市(0.09 → 1.23人)では、大きく増加しています。第48週(11/27～)でも、学校等の臨時休業が7施設で報告されており、今後の患者の増加が懸念されます。県内の発生状況に注意するとともに、外出後は手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。また、予防接種を予定されている方は、早めに済ませましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

[平成29年度 今冬のインフルエンザ総合対策について \(厚生労働省\)](#)

◆◆ インフルエンザの予防接種は、お早めに！ ◆◆

インフルエンザのワクチンによる効果が現れるまで、2週間程度かかります。

本格的な流行がはじまる 12月中旬までに、予防接種を済ませることが望ましいです。

定期予防接種の対象者は積極的に予防接種を受けましょう。定期予防接種の対象者以外の方は、任意での予防接種を受けることをご検討ください。

- ・ 予防接種は発症の可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぎます。
- ・ 年により、流行するウイルスの型が変わるため、毎年接種する必要があります。
- ・ 13歳以上の方は、1回接種を原則としています。

定期予防接種対象者

- * 65歳以上の方
- * 60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障害があり、日常生活が非常に困難な方

◎ワクチンの在庫および予防接種の予約等については、各医療機関にお問い合わせください。

◎定期予防接種については、接種できる期間が市町村によって異なりますので、お住まいの市町村担当課にお問い合わせください。

1. 地域別発生状況

前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	51	↑	備 中	患者数	2	↑
	定点あたり	0.61			定点あたり	0.17	
岡山市	患者数	27	↑	備 北	患者数	0	→
	定点あたり	1.23			定点あたり	0.00	
倉敷市	患者数	10	↑	真 庭	患者数	0	→
	定点あたり	0.63			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	1	↑	美 作	患者数	11	↗
	定点あたり	0.07			定点あたり	1.10	

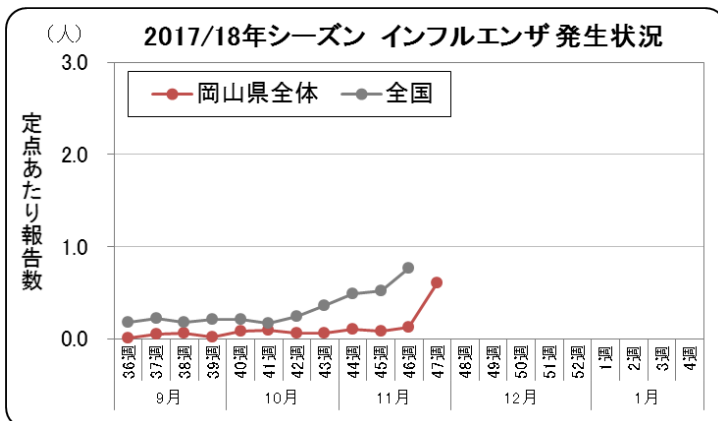
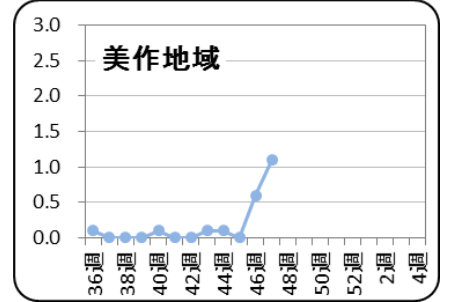
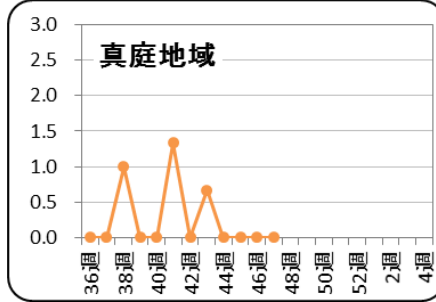
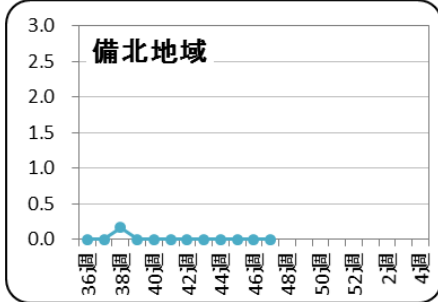
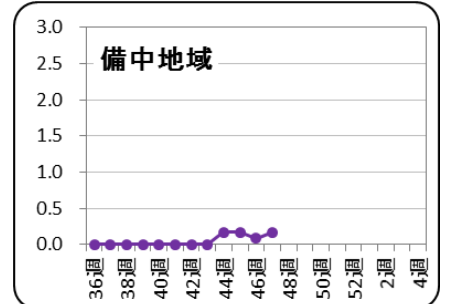
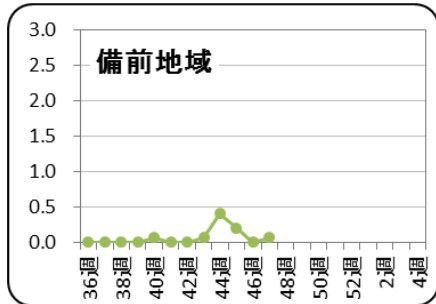
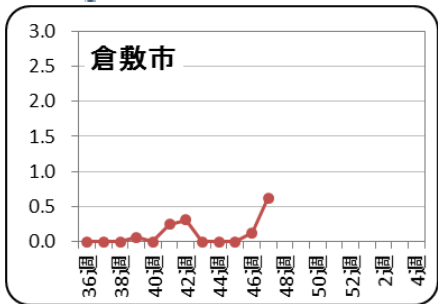
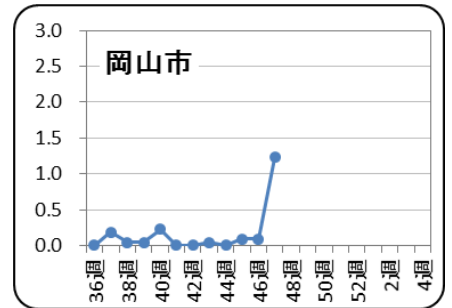
【記号の説明】 前週からの推移
 ↑：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↓：大幅な減少 ↘：減少
 大幅：前週比 100%以上の増減 増加・減少：前週比 10～100%未満の増減

インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2	
開始基準値	終息基準値	基準値	
30	10	10 以上 30 未満	
レベル1		報告なし	
基準値		基準値	
0 < 10 未満		0	

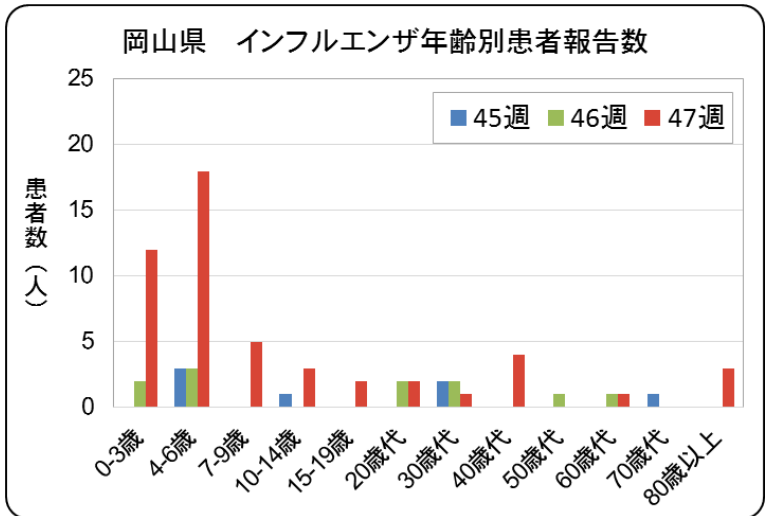
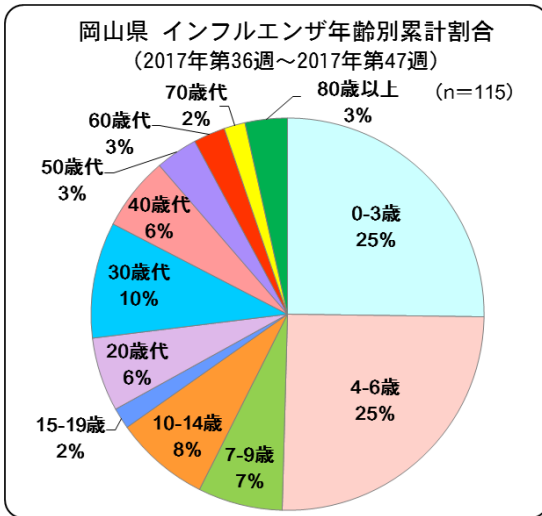


全国集計第46週（11/13～11/19）速報値によると、全国の定点あたり報告数は0.77人となり、前週（0.52人）より増加しました。都道府県別では、沖縄県（4.10人）、長崎県（3.31人）、宮城県（1.87人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、36都道府県で前週の報告数よりも増加がみられました。

[インフルエンザの発生状況について\(厚生労働省\)](#)

2. 年齢別発生状況

今シーズン（2017/9/4～）の年齢別累計割合は、0-3歳・4-6歳 各25%、30歳代 10%、10-14歳代 8%の順で高くなっており、6歳以下の乳幼児が全体の半数を占めています。

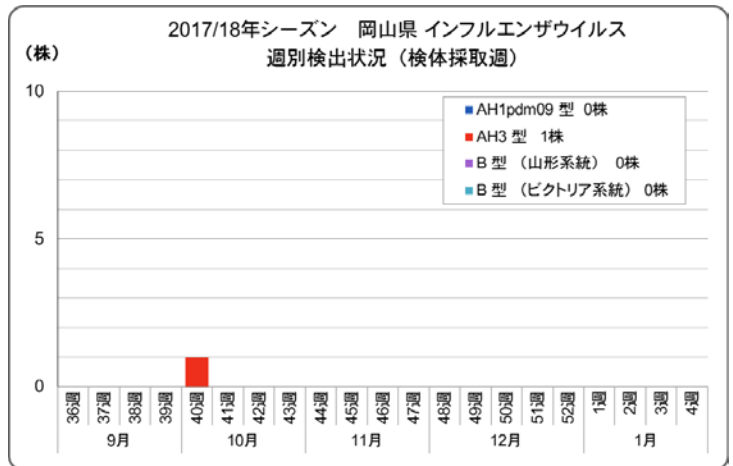


3. インフルエンザウイルス検出状況

第47週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が1株となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 99株、AH3型 84株、B型 60株〔山形系統 52株・ビクトリア系統 7株・系統不明 1株〕検出されています（11月24日現在）。

[インフルエンザウイルス分離・検出速報](#)
(国立感染症研究所)

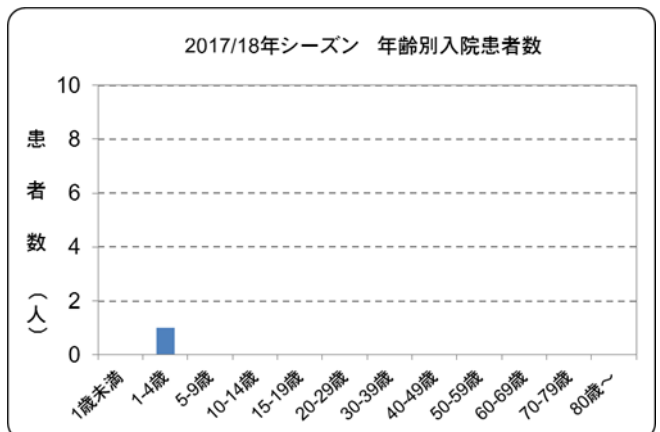
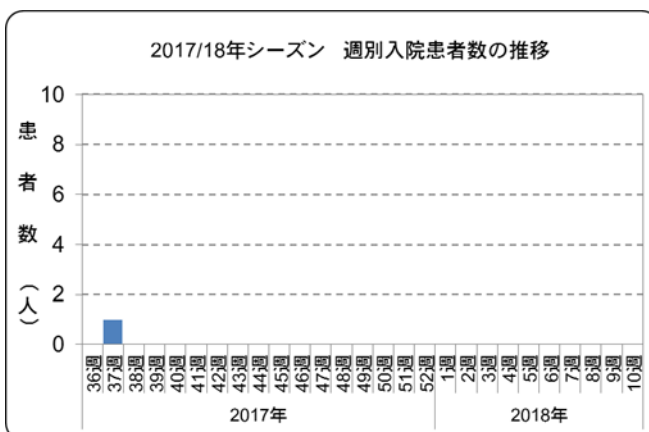


4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。



【2017年9月4日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
入院患者数		1											1
ICU入室 *		1											1
人工呼吸器の利用 *													
頭部CT検査(予定含) *		1											1
頭部MRI検査(予定含) *		1											1
脳波検査(予定含) *		1											1
いずれにも該当せず													

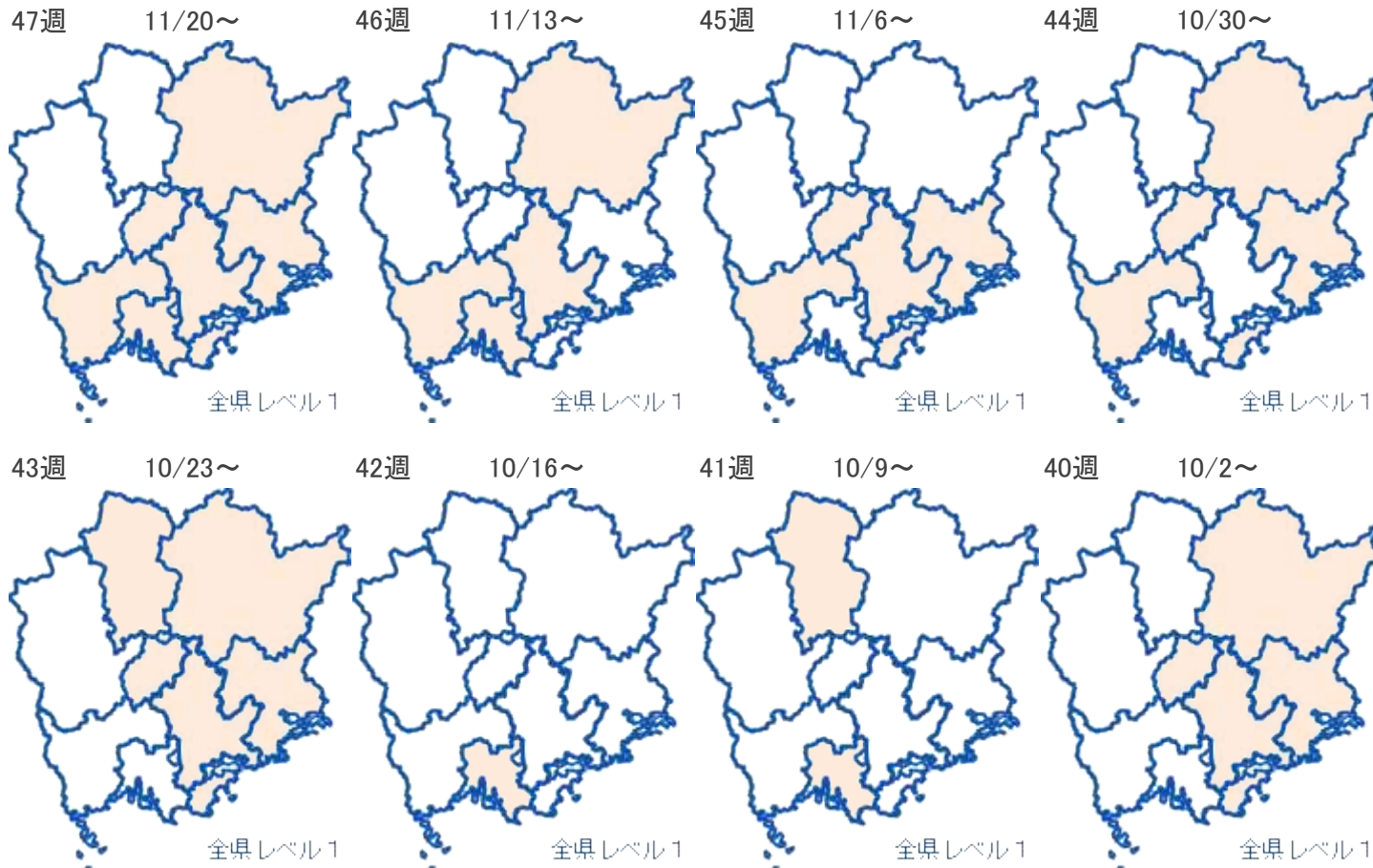
* 重複あり



岡山県地区別 インフルエンザ感染症マップ 2017年 47週

2017年11月29日

13:28:40



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。